



認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

企業や個人から寄贈された食品を、支援を必要とする人達を支える非営利団体に無償で分配する活動をしています。

vol.41

2019.10.20発行

topic
01

市民に広く拡散が期待されます。

神戸市、西宮市がフードドライブを本格主導

家庭で余った食品を市民が持ち寄り、食べ物として再利用する仕組み「フードドライブ」。近年行政においても、取り組みを推進する動きが活発になっています。神戸市は2018年から、西宮市は今年6月から、それぞれ市内量販店で毎月定期的に開催されており、いずれも当法人が回収された食品を福祉的に活用する部分で各自治体と協働しています。このうち神戸市とは、本年6月に「神戸市フードドライブ啓発等業務委託」の契約を交わすに至りました。委託内容は、①食品ロス削減とフードドライブの広報ツールの作成、啓発イベントの実施、②回収食品の検品と報告、③回収食品の福祉的な活用です。



神戸市内のフードドライブでは市のキャラクターワクトン君も登場！

毎週水曜日と第4火、木曜日、両市からの回収食品の検品と行政への報告までの作業を進めています。回収された食品は、提供者が不特定多数の市民であることもあり、品目が多岐にわたり品物の状態もさまざまなので、検品作業は通常よりも煩雑を極めますが、取り組みの広がりに手応えを感じています。



西宮市のフードドライブ啓発ポスター

topic
02

昨年に引き続き！

「0(ゼロ)円キッチン」を開催しました！ イベント◇「KOBE ストップ the 食品ロス!!」◇



昨年のイベントに引き続き、10月の「世界食料デー」にあわせて、今年は私たちなりの『0(ゼロ)円キッチン』の実施にチャレンジしました。映画『0(ゼロ)円キッチン』は、2015年にオーストリアで初公開された“食品ロス”を題材にした映画で、廃棄寸前の食材を集めてごちそうを作り、みんなで楽しく食べながら食品廃棄の問題を考える、といったストーリーのロードムービーです。

昨年の上映会後のパネルトークは盛況でしたが、その折に参加者から、フードバンク関西版のゼロ円キッチンも見てみたい、という声をいただき、有志を集めて今回の開催となりました。

当日は、私たちのもとに集まる様々な廃棄直前食材を、いくつかの“ごちそう”に変身させて試食していただきました。また、食品ロスの実態をわかりやすくパネル展示したり、クイズやゲームを用意して、ファミリーで楽しみながら学べる良い機会となりました。詳細は次号のニュースで報告します。

新年度を迎えます

代表ごあいさつ

福祉的活動意義をより明確に。

フードバンク関西は活動開始から17年目の新年度を迎えました。無事、新年度をむかえることができましたのは、皆様からの食品とご寄付によるご支援の結果です。役員、ボランティア一同、心より感謝申し上げます。昨年度の取扱い食品量は「昨年度と比して若干減少しましたが、これは「ごはん」の食材を集める事にこだわりペットボトル飲料の取扱いを減らしたことによります。当法人に食品をご提供くださった企業数は増加し、扱う食品の種類が増え、特にたんぱく質食品、生鮮野菜の取扱量が増加しました。今後も取扱食品の内容の充実を図っていきたいと考えます。食のセーフティネット事業（行政からの支援要請に答えて困窮状態に陥った市民への緊急食支援）の支援件数が増加し、受益者数が1千人を越えました。また、子ども元気ネットワーク事業（母子世帯への宅配による毎月1回の食支援）の支援世帯数も増加するなど、フードバンクの福祉的な活動意義をより明確にするべく活動領域を広げています。昨年度、画期的だったことは、二つの企業が当法人の活動に直接参加して下さった事です。石光商事株式会社が会社チームで月曜日のデリバリーをご担当下さり、株式会社神戸物産が母子家庭への正規商品の寄付と子ども食堂の運営に月1回関わり、必要とする食材の全部をご提供下さり、さらに食品のプロとして献立、調理の助言や運営のアドバイスをして下さっています。

これからも、たくさんの企業や個人の皆様から食品そして運営費のご支援をいただき、さらに一緒に活動して下さる企業、団体の仲間を増やししながら、支援を必要とする人達に「食べ物を大切にしたいという思い」のこもった食品をお届けし、食べ物には困る事のない、お互いに支え合う社会創りに皆様と力を合わせて、貢献していきたいと考えています。本年度も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

フードバンク関西代表 浅葉めぐみ



ゼロ円キッチンのイベントにて。

- 開催：2019年10月6日（日）11～16時
- 会場：東灘区岡本商店街みなと銀行
本山支店前

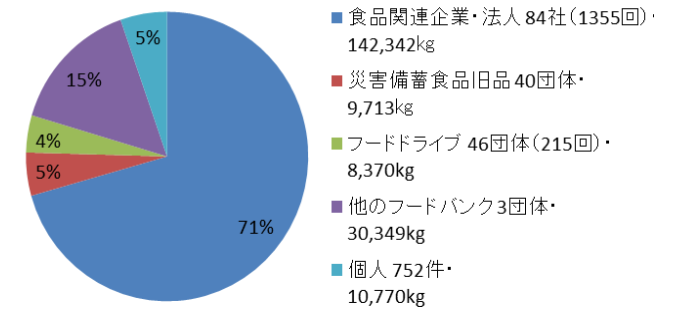
平成30年度事業報告（事業期間：平成30年9月1日～令和元年8月31日）

事業活動の状況

当法人は、企業や個人から、「商品としての価値はありながら流通から外された、あるいは家庭で使いきれないが、食べ物としては安全で美味しく全く問題のない食品」を回収し、それらの食品を下記の3つのプロジェクト、即ち、「福祉団体への定期的分配」、「食のセーフティネット」、「子ども元気ネットワーク」を通じて、支援を必要とする人達への無償分配を実施しています。食品の回収状況と活用について、さらに当法人の運営について報告します。

食品の回収状況

2018年度取扱食品量内訳



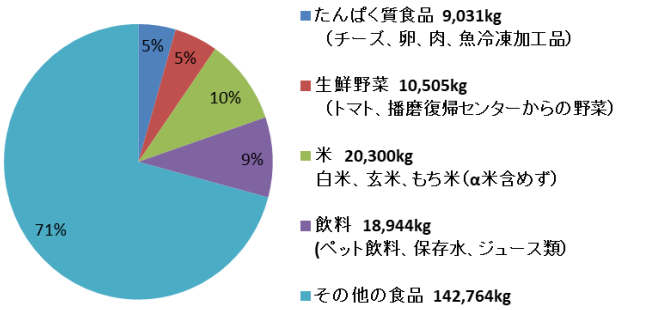
①取扱食品量

本年度は、新たに14の食品関連企業と合意書をかわし、15企業と災害備蓄食品の提供に関する確認書の交換を行いました。これにより本年度中に食品の提供を受けた食品関連企業・法人数は84社、また災害備蓄食品の提供は、企業、行政も含めて40団体でした。取扱食品総合計量は201.5トンで前年度より24.5トン減少しました。

②取扱食品の種類

本年度、「ごはんのおかず」になる食材の取扱量を増やすべく、渉外担当チームが主食副食食材を製造する企業への働きかけを積極的に行いました。その成果として印南養鶏業組合からの鶏肉加工品をはじめとして「おかず」食材を扱う企業との取引が増加し、タンパク質食材取扱量が増えました。また昨年に続き、大西農園からの規格外でも良質なトマトを3.8トン、播磨社会復帰促進センターからはかぼちゃ他6.5トンと、生鮮野菜の取扱量が増加しました。一方、お米は企業、個人からの提供量が減り、8月にセカンドハーベスト名古屋から630キロの米支援を受けて本年の収穫期まで繋ぐ事態になりました。母子世帯や困窮する個人への米の提供は継続できましたが、今後の安定確保が重要課題です。

食品の種類と取扱量の割合



賛助会費、寄付、および助成金

フードバンク事業は、企業や個人の方から食品の寄贈を受け、それらを支援を必要とする人達に無償分配するので、全く収益性がありません。従って、フードバンク関西では、活動を維持するための運営費を、活動に賛同して下さる賛助会員の年会費、一般市民や団体からの寄付そして助成金で賄っています。

(1) 賛助会員、個人・企業からの支援
賛助会員からの年会費、一般の皆様からの寄付が、個人、法人を合わせて延538件で年間運営費を支える大きな柱となりました。

(2) 助成金
昨年10月に在日米国商工会 (ACCI) からの助成金、今年4月に神戸市助成金と子ども未来応援基金からの助成金、またパブリックリソース財団から個人からのクレジットカード寄付に基づく助成金を受けました。これらの助成金により運営費の過半の確保が出来、各事業に積極的に取り組むことができました。

クレジットカードを利用したの寄付については、ギブワンに加えて今年度からロボットペイメントを導入し、県外、外国在住者からの入金もある等、対象者が拡大しました。しかしながら、事務所の賃借料や光熱費の増加で、経常経費の支出増加及び子ども元気ネットワークでの宅配料等の固定支出増加があるので、寄付、助成金等、継続性のない収入に依存するリスクを抱えています。多くの市民に当法人の活動を知っていただき、賛助会員として活動を支えていただく必要があります。負担は軽いけれども、たくさんの市民に支えられているフードバンク関西になる事が理想です。

支援の種類	合計	個人		法人	
正会員会費	300,000円	30件	300,000円	—	—
賛助会員会費	2,896,000円	164件	878,000円	132件	2,018,000円
寄付・募金	7,275,245円	215件	3,399,684円	27件	3,875,561円
ラッフル寄付	543,000円	74件	543,000円	—	—
助成金	7,636,125円	—	—	15件	7,636,125円
合計	18,650,370円	483件	5,120,684円	174件	13,529,686円

2018年度収入		2018年度支出		
会費（正会員・賛助会員）	3,196,000円	事業費	食品搬送費	1,644,193円
一般寄付	7,818,245円		交通費	1,368,130円
助成金	7,636,125円		消耗品費	1,096,145円
その他の収益	977,078円		賃借料	2,779,200円
			その他の経費	4,759,172円
		管理費		1,326,478円
経常収入合計	19,627,448円	経常支出合計	12,973,318円	
		経常収支差額	6,654,130円	

回収した食品の活用について

(1) 福祉施設、団体への無償配分

当法人が寄贈を受けた食品を活用する、支援を必要とする人達を支える団体、福祉施設数は、子ども食堂を含めて、2018年度末現在で、124団体になりました。当法人が取り扱う食品量のほぼ8割がこの事業で活用されます。今期、新たに受け取り団体になった16団体の内、9団体が子ども食堂でした。2019年1月に5年ぶりに「企業、受取団体、フードバンク関西との情報交換会」を開催しました。木口記念会館大会議室に、企業5社5名、受取団体16団体21名、当法人ボランティア24名が集まり、活発な情報交換ができました。受取団体からは、提供食材の活用例の紹介もあり、企業からの参加者に当法人の活動を具体的に理解していただく良い機会にもなりました。参加者から「このような機会を継続してほしい」という要望を受け、ボランティア学生チームが企業、受取団体を繋ぐ「フードバンク関西通信」を3か月に一度作成することになり、関係者に配布しています。



支援団体を通じて受け取った食材で作った料理の写真を、お礼の手紙に添えて送ってくれる方もあり、活動の励みになっています。

(2) 食のセーフティネット事業

一時的に困窮した市民への食支援として、行政との協働により2012年から着手した「食のセーフティネット」事業では、事業協定を結んだ、3市と9社協、1民間事業所からの支援要請を受けて、緊急に食支援を必要とする一般市民に対し、一人当たり1週間分の食糧を提供しています。支援要請件数は、毎年増加していますが、2018年度は656件、受益者数は1128人になり、昨年度に比して179件、405人の急激な増加となりました。

(3) 子ども元気ネットワーク事業

複数のNPO等支援団体と連携して貧困母子世帯を多面的に支援する「子ども元気ネットワーク」事業では、連携する団体を増やし支援世帯数60世帯を数値目標として会員数を増やす努力をしました。それにより新たに「NPOケアット」「伊丹深愛館」「ファミリエ光」「コーポ歌敷山」「サン野菊」「アウンジャ」「しんぐるまざーすふぉーらむ・神戸ウェスト」が加わり、2019年8月末で相談事業を引き受ける団体が9団体になり、そこを通じて支援する世帯が57世帯になりました。フードバンク関西からは、各世帯当たり毎月約25キロの食品を宅配で届け、原則として2年間継続します。2019年4月から翌年3月まで、「こども未来応援基金」から助成金を受領する事ができたのも活動の後押しになっています。



毎年N様が送ってくださるお米やお菓子

(4) 子ども食堂支援事業 兵庫こども食堂ネット

子ども食堂は、子どもの貧困および共働き世帯、片親世帯の増加に伴う子どもたちの欠食や孤食を懸念して、「子ども達に無料または低価で食事を提供する場所」として各地で開設が始まり、今や地域の大人や高齢者も含めた地域の交流拠点として急速に増加しています。2019年調査では全国で約3700箇所と、3年間で12倍にもなりました。当法人は2016年4月より2019年3月までの3年間、ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会の助成を受け、「子ども食堂とフードバンクの連携モデルの構築」として子ども食堂支援プロジェクトを実施しました。その中で、希望する子ども食堂に対して、当法人の受取り団体として食品を提供し、食材確保の下支えをするほか、「兵庫こども食堂ネットワーク」を設立し、事務局を担ってきました。2019年4月からは、子ども食堂運営者の中から選出された代表、副代表を置く体制が整い、「兵庫こども食堂ネットワーク」として独り立ちする方向に進みつつあります。また、「全国こども食堂支援センターむすびえ」が設立され、当ネットワークも全国のネットワークに加入しました。今後は、地域の自治体単位でのネットワーク、全国のネットワークとの間の中間的なネットワークとして「兵庫こども食堂ネットワーク」の役割が期待されます。



兵庫こども食堂ネットワーク会議の様子

今後の展望

今年5月に「食品ロス削減推進法」が成立しました。これを受けて、民間企業も食品ロス削減にさらに真剣に取り組むことになると予想されます。その中で、私たちフードバンク団体はこれまで以上に存在意義を明確にし、活動に取り組んでいかなければなりません。

当法人においても、これまで食品ロス削減を活動趣旨の大きな部分として事業展開をしてきました。しかしここ数年、社会の格差の拡大や母子世帯の生活困窮の状態を知り具体的にに関わる機会が増えた事により、フードバンク事業の福祉的な意義が明確に認識できるようになりました。支援を必要とする人達の自立や暮らしの再建のために「食」の役割は大きく、そこにフードバンクの活躍の場があります。こうした活動意義を具現化するために、現在実施している食品の回収事業での取扱量の増加と内容の充実を図り、それと同時に、関連する企業に活動への直接参加も求めながら、「食のセーフティネット」の利用者の増加、「子ども元気ネットワーク」の母子世帯支援数の増加、「兵庫こども食堂ネットワーク」を通じて「子ども食堂への支援」の充実をはかりたいと考えます。

ボランティア一同、皆様のご支援を背に受けて、努力を継続していきます。今後とも、フードバンク関西の活動に、ご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

topic
03

連携してプロジェクトを推進します。

企業からの直接支援の広がり

従来は、食品関係企業から「余剰食品の提供」というスタンスでの協力が中心でしたが、本年度からは、プロジェクトに直接参加するという形で係わって下さる企業が増えてきました。

一つ目は、2018年11月から株式会社神戸物産が、要支援母子家庭に宅配で食品を届ける「子ども元気ネットワーク」事業で、「神戸物産からのプレゼント」として、通常フードバンクには集まりにくいレトルト食品や魚缶詰等の正規商品を毎月世帯数分、寄付して下さるようになりました。二つ目は、12月から「兵庫子ども食育ネットワーク」への参加という形で、やはり神戸物産が毎月1回、ネットワーク会員の子ども食堂に出向き、主催者と協働して子ども食堂の運営に携わるというものです。内容は、献立立案、必要食材全部の提供、社員ボランティアの当日参加という形で、調理、食堂開催、子ども達との交流に直接関わります。子ども食堂主催者は、準備と当日の運営を食品のプロと一緒にすることで技術の取得やアドバイスを受けることができ、集まる子ども達はいつもと違う大人達と出会い、参加社員の皆さんも職場とは違う場での体験と出会いを楽しんでおられます。さらに、2019年6月から石光商事株式会社も、毎月1回正規商品を子ども食堂の主菜用食材として提供を開始して下さいました。三つ目は、今年4月から、石光商事が毎週月曜日の量販店からの食品引き取りと福祉施設への配送を会社チームとして引き受けて下さるようになりました。デリバリー担当ボランティア不足の折、大変ありがたい直接参加です。このような形で、企業と当法人が連携してプロジェクトの実施ができるようになった事は画期的で、当法人に新しい可能性が開けたと考えています。さらに、より多くの企業や個人の皆様との積極的な連携や協働によって、社会的弱者への支援、災害時の被災者支援等、いろいろな事業が展開できるかもしれません。



神戸物産から母子世帯へのプレゼントは、ハートのシール付！



石光商事からは、うれしいお肉類の冷凍食品が！

topic
04

主食を欠いては支援ができません。

「お米いただき隊」の活動開始

今年は5月から7月にかけて、企業、個人からのお米の提供量が減り、福祉団体へのお米の提供を休止せざるを得ない状況に陥りました。行政からの支援要請を受けて1週間分の食品を手渡す「食のセーフティネット」事業や母子家庭への食支援「子ども元気ネットワーク」事業では、米を欠かす事が出来ません。その意味で、米を安定して確保する手段を緊急に講じる必要があります。そこで、さらなるご寄付をお願いするために「お米いただき隊」の発信を始めました。少しでもこの状況をお知らせするために、チラシを作成し、農協や生産者のみなさまに配布させていただいています。精米してない玄米の状態でも構いません。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

今年も美味しい新米が来ました。これもお米生産者の皆様の思いやりのおかげです。心から感謝いたします。

お米をご寄付下さい。

フードバンク関西
お米いただき隊
からのお願い

いまいただいたお米の役割
お米生産者様から
お米をいただいた方へ
フードバンク関西へご寄付下さい

皆さまの自宅に、去年のお米、残っているお米はありますか？
フードバンク関西にご寄付下さい。

※、日本では、7人〜10人の子供が、経済的困難の中で育っており、健全な成長に必要な栄養と教育を十分に受けられない状態です。

私達は、行政や民間の支援団体と連携して、困窮する母子家庭、支援を必要とする市民に無償で預かったお米と食品を届けます。

お問合せ 認定 NPO 法人フードバンク関西
〒658-0017 神戸市東灘区深江本町1-8-16 101
電話 078-855-7025 ファックス 078-855-7028
mail info@foodbankkansai.org
ホームページ <http://foodbankkansai.org/>

topic
05

今年は新会場で開催です

恒例の「ラッフルキルト」ご案内

運営資金調達のためのイベント「ラッフルキルト」を今年も開催します。ラッフルとは「くじ付き寄付」のことで、寄付をして下さった方に抽選でキルト作品などが当たるという仕組みです。今年も「キルトリーダーズ兵庫」の先生たちやキルト同好会の仲間が心を込めた作品がプレゼントされます。また、ご協賛企業からの賞品も多彩に集まっています。ふるってご応募ください。

寄付は一口1000円
申込期限：11/25(月)
抽選日：12/6(金)

主催 フードバンク関西

申込期間 9月〜 抽選日 11月25日(月) 抽選日 12月6日(金)

ラッフルキルト

「ラッフルキルト」は、寄付したお米の金額に応じて、抽選でキルト作品や賞品が当たるイベントです。今年も「キルトリーダーズ兵庫」の先生たちやキルト同好会の仲間が心を込めた作品がプレゼントされます。また、ご協賛企業からの賞品も多彩に集まっています。ふるってご応募ください。

【ラッフルキルト】寄付は一口1000円です。
【お申込みご注意】 抽選は抽選日に行われ、抽選結果は抽選結果発表ページに掲載されます。
【抽選】 抽選は抽選日に行われ、抽選結果は抽選結果発表ページに掲載されます。
【抽選結果発表】 抽選結果は抽選結果発表ページに掲載されます。
【抽選結果発表】 抽選結果は抽選結果発表ページに掲載されます。

ラッフルキルト参加のの流れ
1. ラッフルキルトに参加する。 2. ラッフルキルトに参加する。 3. ラッフルキルトに参加する。 4. ラッフルキルトに参加する。

あなたのご支援で、「もったいない」を「ありがとう」に！

クレジットカードで手軽に寄付ができます！

●公式ホームページから

<https://foodbankkansai.org/donate-money/>

●次の寄付サイトからも寄付ができます。

Give One (ギブワン) <http://www.giveone.net/>

つながる募金

<https://www.softbank.jp/mobile/service/tsunagaru-bokin/>

ご寄付・賛助会費のお支払方法はコチラです。

●郵便振替

郵便局窓口でご入金下さい。

口座番号：

00940-4-221867

●銀行振込

三井住友銀行 芦屋駅前支店

口座番号：4032415

※どちらも口座名義は

特定非営利活動法人フードバンク関西

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西
神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101

<https://foodbankkansai.org/>
TEL/078-855-7025 FAX/078-855-7028
info@foodbankkansai.org

